

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年8月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	(有) ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原 (しょうぶ)
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34-31 (電話)099-250-2643
自己評価作成日	平成22年8月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年10月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

天候のいい日は、毎日、公園散歩に出かけ、出来るだけ自然と触れ合う機会を多く設けており、それに伴い、認知症の周辺症状の緩和も図れている。

地域の行事にも参加し、地域住民との交流を積極的に図り、地域に貢献している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員で、ご本人に寄り添った理念を考え、共有出来るよう、理念を玄関や受付に掲示し、毎朝の申し送りの際、職員全員で唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の夏祭りや、運動会にも参加している。幼稚園児の訪問や、小中高等学生の体験学習を始め、多様なボランティアを受け入れている。又、近隣住民への避難訓練の参加を促したり、救急蘇生教室開催のチラシを配布する等している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	積極的に、散歩や地域活動に参加する事で、認知症の人への理解を促している。又、運営推進会議等に地域の方を招き、支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、御家族・地域の方に、サービスの実際・評価、ホームの取り組み状況等を報告し、意見を聞いている。意見については、その後、職員で検討を行い、次回会議で報告している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ホームの行事への参加に、招待したり、運営推進委員会会議にも、参加してもらえるように呼びかけを行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングを通して研修を行い、積極的に参加しながら、事例等を参考にし、禁止の対象となる行為を理解し、支援している。玄関については、夜間のみ安全の為、施錠を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修がある時には、積極的に参加し、勉強会を開いている。勉強会に出席出来なかったスタッフには、記録に目を通し、内容を把握してもらうようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援事業や、成年後見制度の研修がある時は、積極的に参加し、知識を深めるように努めている。他の事業所とも、情報を交換し、支援出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者立会いの下、十分な話し合いの末、理解納得して頂けるようにしている。解約時は、その後の行き先等、相談に乗り、安心して頂けるよう配慮している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃より、家族とのコミュニケーションを図っており、不満・要望等あった場合は、推進委員会やミーティングで、話し合っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング・勉強会を、それぞれ月一回行い、個別面談も必要時行い、意見や要望を聞くようにしている。日頃より、コミュニケーション図りに心がけ、問いかけたり、聞き出したりするようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は給料のアップや、本人の意向を重視しながら、職場内で活かせる働きやすい環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修を計画して、経験や習熟度の段階に応じ、人数を割り当て、研修を行っている。又、外部研修には、多くの職員が受講出来るようにしており、出席への声掛けもしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に一度、谷山地区のグループホームの研修に参加し、お互いの情報交換をし、質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は、緊張をほぐす為、出来る限りスタッフが、他入居者との間に入り、和む雰囲気作りを心がけている。又、その都度話の傾聴を行い、安心してもらっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に見学に来てもらったり、電話等で困っている事、不安や希望をお聞きし、安心して入居出来るような、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを通して、その方が何を必要としているか、何に困っているか見極め、他のサービス利用も含め、その方にあったケアの方向性を決定している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様と会話をしたり、お茶や食事を共にすることにより、時間を共有することで、信頼関係を築くことが出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会等で、挨拶を通して、親しい関係になれるように心がけている。又、連絡帳等を通して、家族と共に本人を支えられるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参りや、自宅への外出、馴染みの理容室の利用をすることで、馴染みの場所や、人との関係が途切れないように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の性格等を考慮し、座席の配慮を行い、一人一人が孤立しないで、仲間同士で自然に気持ちを互いに思いやる。又、支え合えるような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去をされた方や、その家族の方へ連絡をすることにより、相談を受けたり、アドバイスをしている。又、他事業所の紹介を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話を通じ、その都度、本人の意向を聞いており、自己決定してもらっている。困難な方に対しては、表情・動作の観察により、本人本位のケアに努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、アセスメントを行い、生活歴や、馴染みの暮らし、生活環境の把握を行っている。又、本人・ご家族等にお聞きし、情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中から、個々生活リズムを把握し、出来るだけそのリズムを崩さないような環境作りに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングや、状況変化時等のケアカンファレンスにて、スタッフで話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践を、専門用語を使わずに、出来る限りご本人の言葉で、記録するよう心がけている。又、毎月、モニタリングを行い、情報を共有しながら、介護計画の見直しに心がけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対して、柔軟な支援やサービスが送れる様、毎朝の申し送り、その都度、話し合っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎日の公園散歩や、地域の行事に参加し、地域資源を十分に活用し、豊かな暮らしを楽しめるよう心がけている。オムツ助成や、いきいき受診券も活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望する医療機関を利用してもらい、適切な医療が受けられるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入浴の際や、体調不良時には、バイタル測定を行い、異常があった際は、看護職員に連絡相談し、受診等行っている。日頃より、健康状態について、積極的にコミュニケーションを図り、利用者の状態変化に、早急に気付けるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には面会し、早期退院に向けて、専門医や医療関係者との情報交換・相談を常に行っている。日頃より、主治医との連携を密に図り、関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会で、重度化や終末期についてのあり方等お話し、ご家族の意向等、お聞きしている。</p>		<p>今後、希望されるご家族がいらっしゃる時には、ご家族の意向や、事業所で出来ることの検討、終末期についての勉強会、主治医との密な連携により、支援できるチーム作りが、必要になってくる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年2回の消防訓練か、心肺蘇生法の訓練を受け、急変や事故発生に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に向けて、年2回、消防訓練を実施している。対応を身につけるよう、出来るだけ全職員参加している。又、訓練の際は、近所にチラシを配り、参加の呼びかけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者、一人一人の性格を良く把握し、人格を尊重しながら、ケアに努めている。排泄時の声掛けには、特に気分を害さぬよう、声掛け等、配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より、談話の中から、コミュニケーションを密に図り、一人一人の思いを傾聴している。又、言葉で表現できない方へは、スキンシップか表情より、思いや希望を伺えるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼食の時間や、消灯時間・晩酌等、決まりなく、本人の希望に沿って、自由に過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	美容面にも気を使い、紙がのびている入居者には、本人の了承を得て、美容室を予約し、本人の希望するカットにて、オシャレを楽しんでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理方法等も、個々に柔らかくしたり、1口大で提供したり、常に工夫し、食材にも旬の物を取り入れ調理している。年に数回、外食や行事食にて、楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食で栄養摂取量、水分摂取量の記録を行っている。嗜好を把握して、食べやすい物等で、色々と工夫している。又、毎食前には、口腔体操を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの勧めを行い、出来ない方は、一部介助にて口腔ケアを行っている。又、いつも利用している、訪問歯科より、年1回の口腔教室にて指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用にて、個々の排泄パターンに合わせて、日中はなるべく、個別でトイレ誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し、便秘予防に努めている。毎日、自家製ヨーグルトを食べてもらい、又、水分補給の徹底を行い、散歩やレクリエーションを行い運動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴順番が平等になるように、1ヵ月毎で決めているが、必要時には、曜日や順番を変えて、一人一人の希望に沿うよう心がけている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じて、昼食後の午睡の勧めや、野外活動後の休息の勧めを行い、無理の無いよう過ごして頂いている。又、長年、晩酌をされている方は、その習慣を続けて頂き、気持ちよく入眠して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をカルテに綴り、確認するようにしている。薬の変更時には、全職員へ申し送るようにしている。病状の変化に対して、記録を行っている。又、薬剤師に薬の処方には、服薬セットしてもらい、薬について、副作用や注意事項、用法・用量について、管理指導受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	長年、晩酌されている方は、ホームでも晩酌してもらい、毎月、墓参りに行かれる方は、ご家族の協力を得ながら、外出して頂き、気分転換を図って貰っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	リハビリや、公園散歩にて、戸外に出かける機会を設け、長距離の歩行困難な方へは、車椅子を準備し、無理なく外出出来るよう努めている。又、野外活動は、一人一人の行きたい所等、希望を聞き計画している。墓参りや、自宅への帰宅の際には、本人の希望に沿って、外出出来るよう家族の協力を得られるように連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は、1F金庫にて保管しており、希望時自由に使用できるようにしている。自己管理行える方は、行ってもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時は、電話・手紙のやり取りができるよう支援している。又、自分では出来ない方へは、代わりに電話をかけたり、住所の宛名を記入し、ポストへ投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>西陽が入る時間帯や、午睡時には陽が当たらないよう、カーテンを閉め、光の調整を時間毎に行っている。又、季節感を感じて頂く為に、季節毎に節句物や七夕飾り等、ホールや廊下の飾り付けを行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仲が良い利用者同士で、コミュニケーションが取りやすいよう、席を考慮したり、ホールとは別に、気軽に談話出来るパブリックコーナーを設置し、癒しの空間を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやタンス・写真・慰霊等、馴染みのある物、使い慣れた物、好みの物を持ってきて頂き、自宅と変わりなく居心地良く過ごせるような、部屋作りを自由にして頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全面を考慮し、手摺りが設置してある廊下・トイレ等、上手く活用してもらう為に、手摺りの付近には、障害物となる洗濯物等を置かないようにしたり、床に水がこぼれていないか等、常に確認し転倒の無いように、毎日、掃除を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない